

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 健康福祉部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	みえこどもの城 (松阪市立野町1291番地)
指定管理者の名称等	財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事長 竹林武一 (松阪市立野町1291番地)
指定の期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童健全育成事業を実施すること。</li> <li>・児童健全育成拠点事業を実施すること。</li> <li>・利用料金に係る料金の収入に関すること。</li> <li>・施設及び設備の維持管理及び修繕に関すること。</li> </ul>

### 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		施設の維持管理については、委託業者により毎日、館内の点検を実施し管理に努めるとともに、施設の清潔を維持した。また、常に利用者の安全の観点から、緊急に必要な修理や改善には速やかに対応したこと、備品の転倒防止器具をつけるとともに緊急地震速報値を設置したことなどにより適切な管理に努めた。さらに利用者がいない場合は、冷暖房や電灯をスペースごとにスイッチをOFFにするなどコストの削減にも努めた。以上のことなど概ね適切な管理業務が実施された。
H19	B		
H20	B		
H21	A		
H22	A		

### 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		総利用者数目標を、毎年度20万人とし、5年間努力を重ねてきた。平成18年度は185,749人、平成19年度は185,798人、平成20年度には201,100人と20万人を超え、平成21年度は225,112人、平成22年度(2か月間休館)は、206,416人と、ここ3年間は目標を達成した。ただし、スペース別では目標を達成していない場合がある。20万人の目標を達成したのは、工夫した多様な遊びを提供したこと、企業、高校や大学などと多くの協働事業を実施したこと、移動児童館として地域に出かけ、祭りやイベントに参加したことなど積極的に事業を展開してきた結果である。
H19	B		
H20	B		
H21	B		
H22	B		

### 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	377,514,000	事業費	378,361,857
利用料金収入	74,666,664	管理費	356,669,633
その他の収入	327,028,676	その他の支出	40,387,065
合計 (a)	779,209,340	合計 (b)	775,418,555
収支差額 (a)-(b)	3,790,785		

※参考

利用料金減免額	3,677,450
---------	-----------

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	H18	H19	H20	H21	H22	
H18	B		利用者数	目標値	200,000人	200,000人	200,000人	200,000人	200,000人
				実績値	185,798人	185,593人	201,100人	225,112人	206,416人
			利用料金等収入	目標値	17,483,000円	17,483,000円	17,673,000円	17,822,000円	18,010,000円
				実績値	21,726,054円	18,352,942円	19,420,588円	17,437,580円	18,319,420円
			各スペース利用者数合計	目標値	187,600人	190,600人	201,000人	201,000人	207,000人
				実績値	189,965人	183,261人	206,283人	233,846人	211,098人
			内訳 特別季節事業	目標値	3,000人	3,000人	3,500人	3,500人	3,500人
				実績値	2,892人	3,862人	6,331人	12,117人	11,401人
			企画展事業	目標値	40,000人	40,000人	45,000人	45,000人	45,000人
				実績値	33,919人	25,146人	32,630人	42,474人	36,782人
H19	B		館内事業	目標値	79,700人	79,700人	80,500人	80,500人	80,500人
				実績値	79,239人	90,531人	96,787人	100,378人	90,637人
			シアター事業	目標値	27,000人	30,000人	34,000人	34,000人	40,000人
				実績値	36,747人	27,210人	26,861人	25,802人	30,863人
			その他	目標値	37,900人	37,900人	38,000人	38,000人	38,000人
				実績値	37,168人	36,512人	43,674人	53,075人	41,415人
			特別季節事業企画数	目標値	5企画	5企画	7企画	7企画	7企画
				実績値	5企画	17企画	14企画	13企画	39企画
			企画展事業企画数	目標値	8企画	8企画	9企画	9企画	9企画
				実績値	6企画	9企画	9企画	9企画	10企画
H20	B		サイエンスルーム企画数	目標値	60企画	60企画	65企画	65企画	65企画
				実績値	63企画	59企画	64企画	78企画	87企画
			アートスペース企画数	目標値	90企画	90企画	95企画	95企画	95企画
				実績値	81企画	89企画	97企画	113企画	102企画
			舞台スペース企画数	目標値	44企画	44企画	50企画	50企画	50企画
				実績値	72企画	57企画	59企画	64企画	67企画
			研修室・レストスペース・野外企画企画数	目標値	23企画	23企画	23企画	23企画	23企画
				実績値	27企画	40企画	36企画	82企画	96企画
			連携・県民参加企画割合	目標値	52%	54%	56%	56%	60%
				実績値	71%	54.5%	56.2%	61.3%	68.5%
H21	A		企画満足度	目標値	70%	70%	70%	70%	70%
				実績値	83%	80.1%	92.3%	94.0%	86.8%
			団体利用数	目標値	170~180団体	170~180団体	180~200団体	180~200団体	180~200団体
				実績値	288団体	249団体	201団体	201団体	209団体
			移動児童館実施回数	目標値	80回	80回	80回	80回	80回
				実績値	94回	90回	79回	83回	91回
			移動児童館参加人数	目標値	9,500人	9,500人	9,500人	9,500人	9,500人
				実績値	9,246人	7,532人	8,010人	6,348人	5,873人
			指導者育成数	目標値	310人	310人	310人	310人	310人
				実績値	307人	315人	368人	403人	401人
H22	A		広報活動実績件数	目標値	230件	230件	230件	230件	230件
				実績値	252件	253件	260件	258件	216件
			ボランティア登録数	目標値	50人	60人	60人	60人	60人
				実績値	63人	48人	47人	47人	55人
			ボランティア参加者数	目標値	750人	750人	750人	750人	750人
				実績値	665人	474人	413人	476人	433人
			講師・指導者情報登録数	目標値	330人	330人	370人	380人	380人
				実績値	311人	316人	334人	358人	397人
			ホームページアクセス数	目標値	14,000件	14,000件	14,000件	14,000件	14,000件
				実績値	127,264件	87,007件	92,076件	100,127件	92,826件

### 全期間におけるコメント

毎年度の総利用者目標20万人を達成するため努力を重ね、平成20年度に20万人を超え、平成21年度はオープン20年の記念イベントを行ったこともあり、過去最高の利用者数を記録した。また、平成22年度は2ヶ月の休館にもかかわらず、利用者数の目標20万人を超えた。

25項目の成果目標の達成状況については、平成18年度の14項目から平成22年度の19項目と、着実に増加しており、評価できる。

## 6 総括評価

利用者の安全を最優先で考え、職員研修、プレイランドの毎日の点検、遊具のメンテナンスの業者による定期点検を実施している。他県の事故情報は朝のミーティングで共有し同じことが当館で起こらないようにしている。

具体的な対応として、定期点検時の業者の指摘によるクライミングウォールへのクッション材の設置、日常の点検としてのプレイランドの滑り台へのクッションの追加など事故防止に努めた。

平成23年1月に行った指定管理制度のモニタリングのチェックでは、特に指摘すべき事項はなかった。

利用状況については、各年度の評価を真摯に受け止め、利用数増に向けた取組や、業務の改善に努力し、総利用者数の目標20万人を平成20年度以降達成した。総利用者の増加を図るため特別季節事業を積極的に実施し、またシアター事業においては、映像が静止画であり、映画もフィルムであり作品数が限られていたものをデジタルプラネタリウムとしてリニューアルし魅力を増した。さらに、プラネタリウムは年4回の参加者の満足度を測定し、顧客のニーズを重視した取組を行っている。

以上のことから、今回の指定管理期間の管理を通じ、平成17年度以前の県の直営時の委託業者であった経験を活かすとともに、目標の実現のために積極的に工夫した事業を提供し、総利用者数20万人の目標を最近3年間達成するとともに、効率的で円滑な運営を行ったと評価できる。

なお、平成23年度から2期目の指定管理者として、三重こどもわかもの育成財団が引き続き指定されており、成果目標のうちスペースごとの利用など目標に達しなかった項目について、引き続き、創意工夫に努めているところである。また、平成25年度以降の松阪市からの補助金の減額に対応した事業内容の見直しが必要である。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
  - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
  - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
  - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」  
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
  - 「B」 → 当初の目標を達成している。
  - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
  - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
  - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
  - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。